

## 施設新設・改修に伴う AV 機器の整備(池袋)

### 1. 概要

教室では 8 号館 1、2、3 階の 5 つの大教室、5 号館 3 階の 1 つの大教室、そして 9 号館地下 1 階の 2 つの中教室の改修を行った。いずれも施設の工事は伴わず、AV 機器のみの改修となった。これにより、池袋キャンパスにおける操作卓教室は、すべてカード認証型かつタッチパネル式となった。また、9 号館地下の改修で、天井取付プロジェクタに関しては、プロジェクタ監視システムですべて監視可能となった。

8 号館 3 階及び 4 階の 5 つの PC 教室のワイヤレスマイクは、経年劣化のため、赤外線ワイヤレスマイクシステムに改修を行った。

11 号館 1 階 A101 教室（模擬法廷）は、法務研究科からの強い要望もあり、収録およびマイクシステムの一新を行った。

教室以外では 5 号館 1 階会議室、12 号館地下会議室、12 号館 2 階会議室、太刀川 1 階会議室に AV 機器を新設した。

また、メディアセンターの改修事業とは別に、ロイドホール 5 階の共同研究室に人文研究センターが AV 機器を設置するにあたり、機器選定の助言および工事遂行の監督補助を行った。チャペルのパイプオルガンに指揮者確認用モニターを取り付ける工事に関しても、同様の対応をした。

### 2. 教室（操作卓）

#### (1). 8 号館 5 教室（8101、8201、8202、8303、8304 教室）

- ① システム起動を、これまでのシリンダー錠から、カード認証型に改修した。操作卓のデザインは 2011 年の 11 号館、2013 年の 5 号館の流れを組みつつ、さらに改良された形となった。
- ② ワイヤレスマイクが取り出しやすいように、卓の右側に段差をつけ、充電器ごとに設置する場所を設けた。
- ③ 8303、8304 教室は e-learning や理学部の映像配信授業が行われるため、PC 方の希望をとりいれ、通常より 430mm 横幅を伸ばし、モニター 3 台を設置できるようにした。
- ④ 8303、8304 教室では初めてランプ取り換え不要なレーザープロジェクターを取り入れることで、コスト削減に寄与した。
- ⑤ これまでスクリーンは 2 面あるものの同時利用はできなかったが、教員からの要望に応じて、すべて 2 面同時使用可能とした。
- ⑥ 今回の改修で最も特徴的なことは、同時に最大 4 地点での通信可能な TV 会議システムを導入したことである。これにより、各教室間で双方向の会話が可能になった。映像は鮮明に、音声は遅延がほとんどなく送ることができる。

また、これまで同様、4階メディアセンターですべての教室のコントロールが行える他、各教室でのコントロールも可能となった。更に既存の有線 LAN を生かして、1 教室から 4 教室への配信も可能となっている。

- ⑦ 新規では、持ち込みノート PC を、配線不要で無線 LAN によりスクリーンに投影できる wivia を設置した。



図 1 : 8101 教室(操作卓)



図 2 : 8201 教室(操作卓)



図 3 : 8303 教室(操作卓)

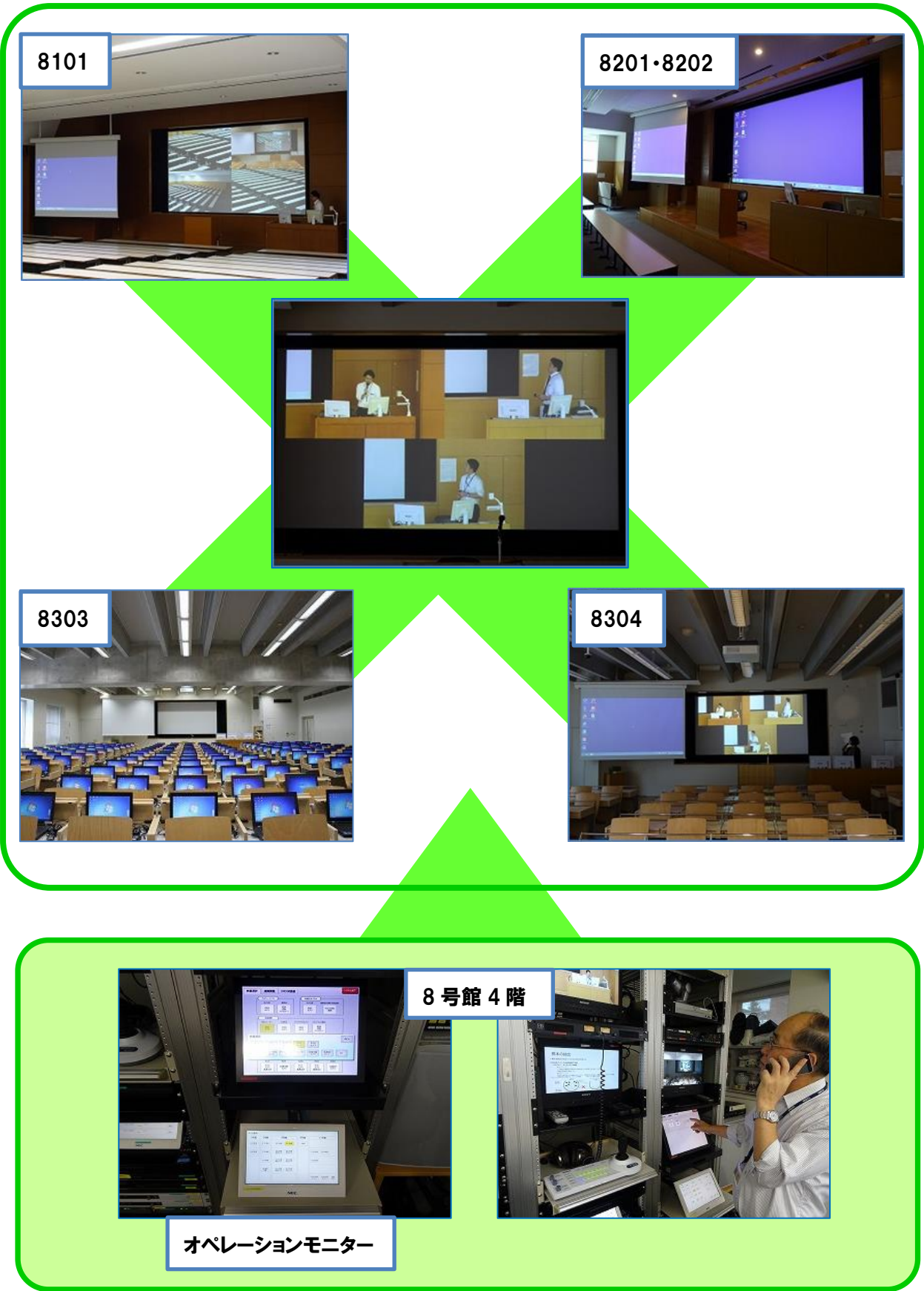


図4：8号館TV会議システム

(2). 5号館B棟3階1教室 (5322 教室)

基本的なシステムは8号館と同様だが、主に授業および学生サークル利用となるので、カメラをはじめ収録システムは設置していない。



図 5 : 5322 教室



図 6 : 5322 教室

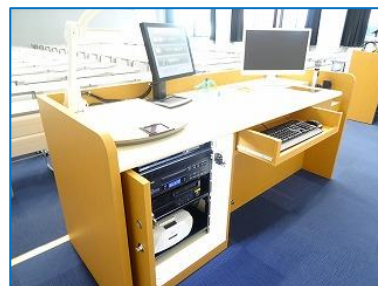


図 7 : 5322 教室(操作卓)

(3). 9号館地下1階2教室 (9B01、9B03 教室)

昨年改修した4号館別棟教室 (4151、4152、4353 教室) と同様のカード認証型 AV ラックに更新した。これにより操作卓、簡易操作卓、AV ラックの教室はすべて WatchPJ の監視下となり、遠隔にてプロジェクタの電源管理が可能となった。



図 8 : 9B01 ・ 9B02 教室(AV ラック)

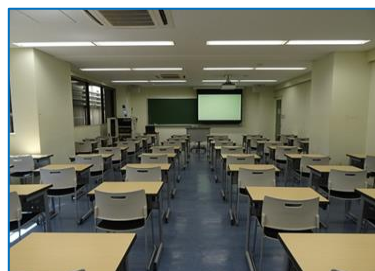


図 9 : 9B01 ・ 9B02 教室



図 10 : 9B01 ・ 9B02 教室  
(カード認証システム)

(4). 8号館 PC 教室 (3、4階 5 教室)

ワイヤレスマイクシステムを一新、赤外線を導入した。

(5). 11号館 1階模擬法廷室 (A101 教室)

この教室は法務研究科が夏期模擬法廷として使用し、その授業風景を教室設置のカメラで収録していたが、昨年故障し、一時対策は施したもののシステム自体が古かったため、更新の要望を受けていた。また、同授業ではマイクを多数使用するため、基本設置されている 2 本では足りず、毎回ポータブルワイヤレスシステムを 2 台持ち込んでいたため、これらのシステムの一新を行った。

これにより 2 台の旋回型カメラで撮影、またバウンダリーマイクで収録した音声を録音、それぞれブルーレイや CD、USB にデータを変換保存することが可能になった。また、ワイヤレスマイクを 5 本増設することで計 7 本同時使用可能となった。



図 11 : A101 教室



図 12 : A101 教室(収録システム)

### 3. 教室以外

これまでの会議室は、建設当時に施設課が一部教室に付帯物として設けた音響（マイクシステム）やスクリーンがある他、メディアセンター所有の予備機や廃棄品のプロジェクタやDVDプレーヤーを仮設置していた。

しかし、会議室でのノートPC画のプロジェクタ投影やマイクの使用が増えたこと、既設の設備が老朽化したことを鑑み、このたび本センターが使用頻度の高い会議室にAV機器を新設した。

#### (1). 12号館地下会議室

##### ① 第1会議室

単独または第2会議室と結合して使用する場合、既存のスクリーンボックスを生かして16:10の電動スクリーンに改修、プロジェクタは天井吊り下げとした。ノートPC接続が容易になるよう、HDMI入力端子およびAVラックの教室と同仕様のチューブ式RGBケーブルを設けた。また、ワイヤレスで投影可能なワイヤレススティックも導入した。

音響に関しては、天井に埋設していたスピーカーの配線を生かし、第1、第2それぞれで切り替えられるようにした。

##### ② 第2、3、4会議室

これらの会議室は単独あるいは結合利用のため、移動可能なワゴン式AV機器を2台設置した。ワゴンにはプロジェクタ、ブルーレイプレーヤー、スピーカーおよび入出力スイッチャーを搭載、ノートPC接続は第1会議室同様、HDMI入力端子および片側固定のチューブ式RGBケーブルとした。

また、100インチの16:10モバイルスクリーンを用意した。



図 13 : 12号館第1会議室



図 14 : 12号館第1会議室(AVラック)

(2). 12号館2階会議室

スクリーンボックスは既設のものがあるが、プロジェクタの天井固定は構造上無理であることから、卓への設置型とした。ラックにはLANで接続し、ノートPCは12号館地下会議室同様、HDMI入力端子または片側固定のチューブ式RGBケーブルでの接続とした。また、ワイヤレスマイクと床置きスピーカーを設置した。



図 15 : 12 号館 2 階会議室



図 16 : 12 号館 2 階会議室  
(AV ラックとスピーカー)

(3). 太刀川1階(第1会議室)

12号館第1会議室同様、単独あるいは第2会議室と結合利用されることから、プロジェクタを天井吊り下げとした。スクリーンに関しては、昨年施設付帯のスクリーンが破損して取替えたばかりなので、そのまま流用することとした。もともとマイク設備はあったが建設当時の古いものであったため、これを一新した。



図 17 : 太刀川第1会議室

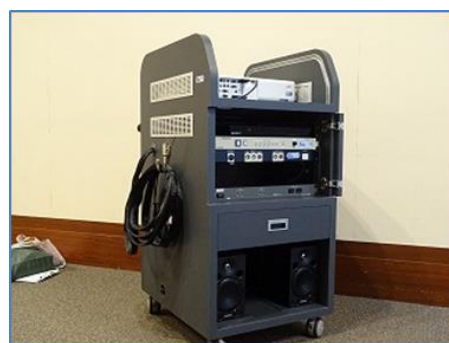


図 18 : 12 号館第 2~4、5 号館第 2 会議室  
(AV ワゴン)

(4). 5号館1階(第2会議室)

12号館第2~4会議室共用AVワゴンと同様の機器を1式、さらに壁面に手動巻き上げ式スクリーンを1台設置した。